

キャラクター名
常勝の天才+死神の瞳

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	ノイマン					
オプション		年齢		性別		
覚醒	無知	衝動	自傷	初期侵食率	31	%
出自	天涯孤独	経験	トラウマ	邂逅	いいひと	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	8
精神	6	0	0			6	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
溢れ落ちた力	R C	6r+14		0		命中した対象の次ダメージ+6D
唯一の力(100↑)	R C	6r+16		0		命中した対象の次ダメージ+7D

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
複製体:死神の瞳	P	N		
母親	P 尽力	N 隔意		
谷修成	P 憧憬	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
死神の瞳	4	3+2	メジャー	視界	単体	対決		
効果: 命中で次ダメージ+[LV+2]D/ダメージ0								
スキルフォーカス	5	2	メジャー	-	-	-		
効果: 指定した技能のエフェクトとして扱う/達成値+[LV×2]								
ファンアウト	2	4	セットアップ	至近	範囲(選択)	自動		
効果: 対象を移動させる/自分を対象にできない								
常勝の天才	7	6	セットアップ	視界	シーン(選択)	自動	ピュア	
効果: ラウンド中攻撃力+[LV×4]/自分を対象にできない								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

とあるオーヴァードの遺伝子から造られた複製体、または失敗作。オリジナルは非常に優れたオーヴァードであり、単独でUGNの精鋭部隊を蹴散らしたと聞く。それと比して、彼女はあまりにも脆弱だった。レネゲイドウイルスに感染してはいる。だが発露した力はただ一つ、相手の体内にレネゲイドを浸透させ、衝撃と共に爆発させる術のみ。オーヴァードの基本たるコンセントレイト(集中)ですらおぼつかない。製作者の落胆は、いかほどだったのだろう。彼女の素質が判明した瞬間、産みの親は彼女から興味を失った。「キミは、○○じゃない」

母に見切りをつけられて、それでも幼い彼女は努力した。唯一得た力を必死に磨いた。命中させる技術を求めた。どうすればそれを有効に扱えるか考えた。そうすれば、振り向いて貰えると思信じて。結論として、彼女は孤高を諦めた。

——私はオリジナルにはなれない。一人じゃ何も出来やしない。

観察することを覚えた。他人を動かす手段を学んだ。戦術を修めた。出来損ないなりに、役に立てる方法を考えて考えて考えた。——そんな努力など無駄であったと気付いたのは、親に棄てられた時だった。

以降、彼女はレネゲイドに関わることを止めた。人ではなく、かといって超越者でもない半端者(ダブルクロス)。そんな出来損ないが、認められたいだなんて、烏滸がましかったのだと。故に彼女は、日常に隠れ住むことを選んだ。

だが、彼女は知らない。自らが天才と呼ばれるシンドロームを発症していることを。